

135 コムクドリ

(スズメ目)

Agropsar philippensis

兵庫県ランク: 注

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:注

環境省ランク:

種の概要

サハリンと日本北部で繁殖し、繁殖後は沖縄からフィリピン、ボルネオなどに渡り、越冬する。日本では北海道から本州北・中部で繁殖する。春秋の渡りの時期には本州南西部から四国、九州を通過する。沖縄では越冬する。平地から山地の疎林や農耕地に生息し、落葉広葉樹林で繁殖する。樹上で昆虫類や木の実を採食する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州北・中部、飛島、粟島、佐渡、舩倉島、本州南西部、隠岐、竹島、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、甕島列島、宇治群島、草垣群島、上三島諸島、種子島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島



写真提供: 友田達也

(性別: オス)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、★姫路市、★尼崎市、★明石市、★西宮市、洲本市、★芦屋市、★伊丹市、★豊岡市、★加古川市、★宝塚市、三木市、★高砂市、川西市、小野市、★養父市、南あわじ市、★淡路市、加東市、たつの市、猪名川町、★稲美町、★香美町、★新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ 特殊 ら休 環息 境・	局 地的 繁殖	希 少
○							○		



写真提供: 友田達也

(性別: オス(上)、メス(下))

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に4-5月と8-10月に生息する。かつては秋の渡り時期に数千羽の大群が通過する地域も見られた。文献上は、1959年10月伊丹市昆陽池での約2,100羽群が最大である。近年は単独若しくは十数羽の小群が各地で記録される程度に減っていたが、最近、やや回復傾向にあり、秋の渡りの時期には数百羽の群れが観察されることもある。

保護上の留意点

平地や丘陵のまとまった林が開発の時代に失われたことにより急減したため、現在残る林を保全育成し、拡大していくことが重要。